〈楷　書〉

（この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする）

清原大龍先生書

〈行　書〉

井之上南岳先生書

□ 壽酒春偸む青竹葉、仙源寒は譲る碧桃花。（王道昆）

めでたきを祝す酒の竹葉は春のさきがけをなし、仙人の住む仙源の寒気は碧桃花に譲って暖かいのである。

次号予告「布衾絮薄堪伸脚　紙帳花寒不結趺」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書

□高きや尓　農本りてみれ盤　介ふりたつ　多みの可万登八　耳き者ひ二遣里

高き屋に　のぼりて見れは　煙たつ　民のかまとは　にきはひにけり

〈新古今和歌集　七〇七　仁徳天皇御歌〉

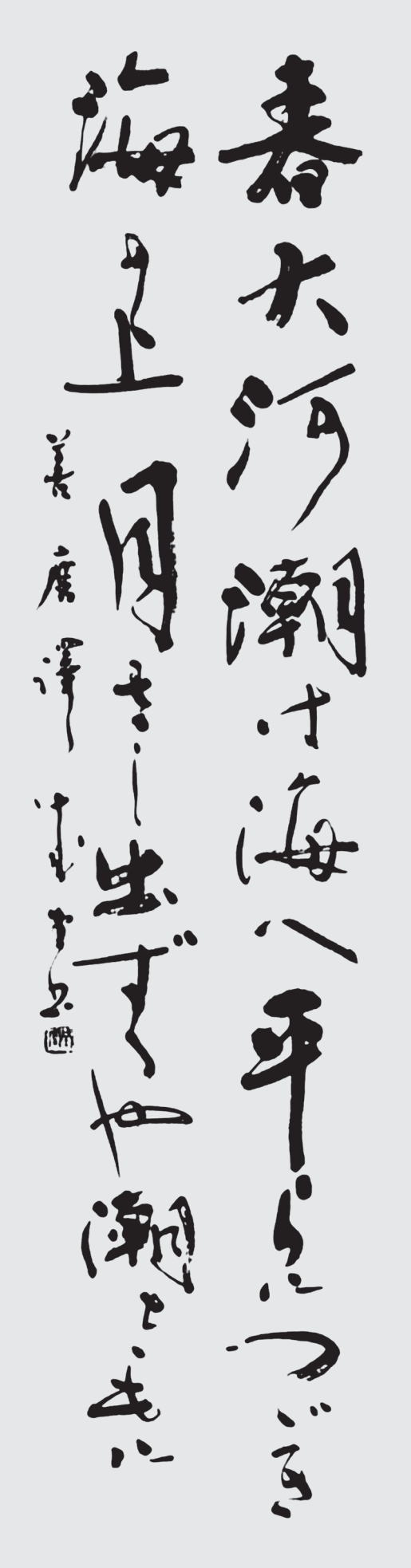
条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

山本飛雲先生臨

▽温彦博碑

在乎經國大業之始以親喪去官

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



吉田成堂先生書

□「春大河花の月の夜」　土岐善麿訳

春大河（はるおおかわ）　潮（うしお）は海へ　平（たい）らにつゞき海の上　月さし出（い）ずるや　潮（うしお）とともに

条幅随意（半折½縦のみ）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成美先生書

□「和而励」（わしてはげむ）

お互いのよさを認め、
励まし合うこと。

北海道教育大学附属旭川小学校の職場訓のひとつ。

・付記　聖徳太子は「十七条憲法」の第一に「以和為貴」（和を以って貴（とうと）しと為（な）す）（和こそ貴ぶべき徳である）とこの句を揚げている。

≪手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。≫

半折作品は各課目ごとに横⅛に一枚ずつたたんで提出ください。

条幅随意（半折½）漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

半紙規定参考手本　―1月末日締切―

（この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする）

□慶賀を以って善と勧(すす)む。
慶び祝って恩賞を賜(たま)い、善を行うようにすすめる。

次号予告「儉者心常富」

吉田成美先生書

半紙規定参考手本　―1月末日締切―

（この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする）

□慶賀を以って善と勧(すす)む。
慶び祝って恩賞を賜(たま)い、善を行うようにすすめる。

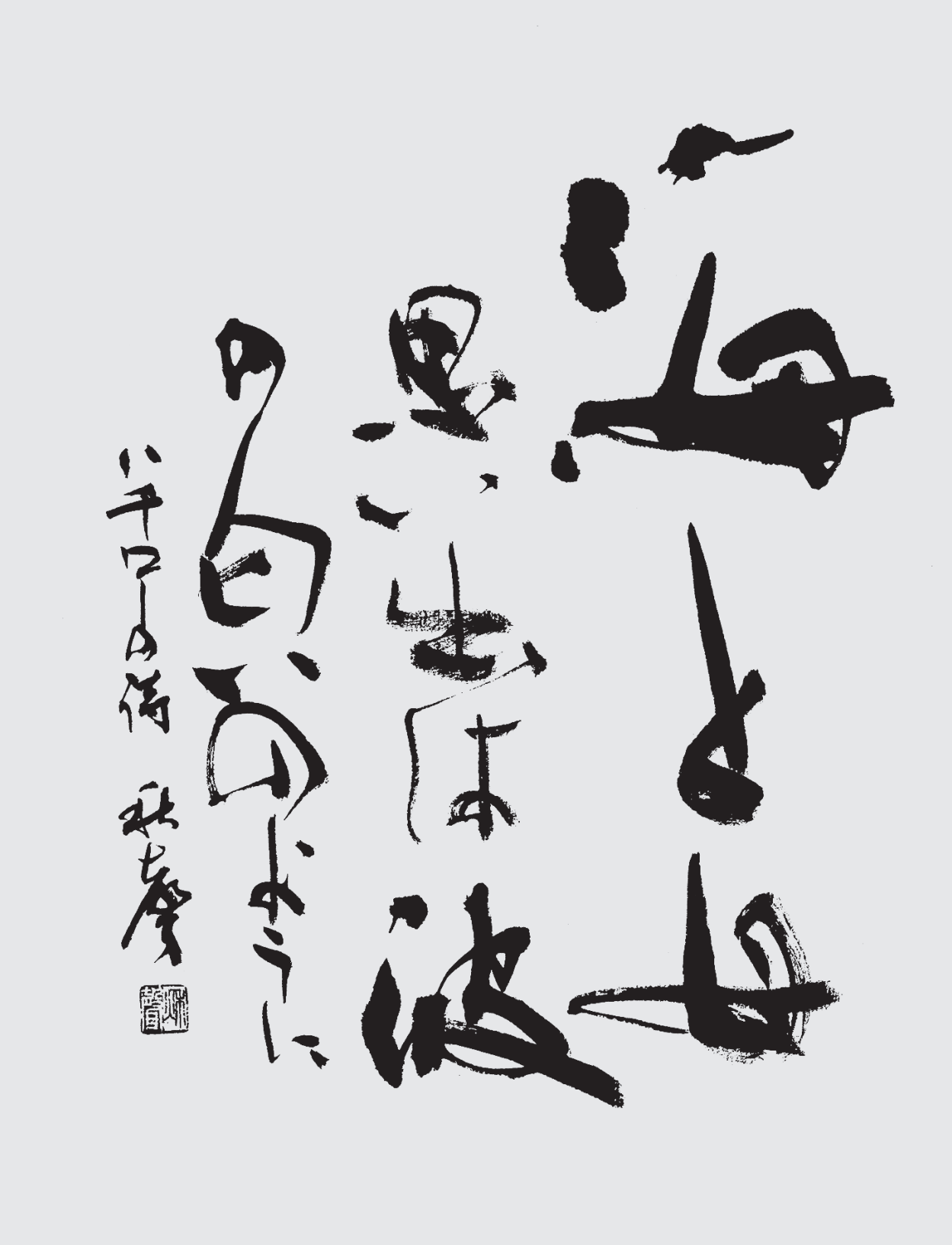
次号予告「儉者心常富」

吉田成美先生書

半　紙　随　意　参　考　手　本　　―１月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります .



＜詩文書＞「海と母」思い出は波の匂いのように　サトウハチローの詩集「おかあさん」から

小　畠　秋　聲　先　生　書

半紙随意（臨書）参考手本　―1月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題は一人一点とする）

▽温彦博碑

「壞姿月舉」

＜臨　書＞

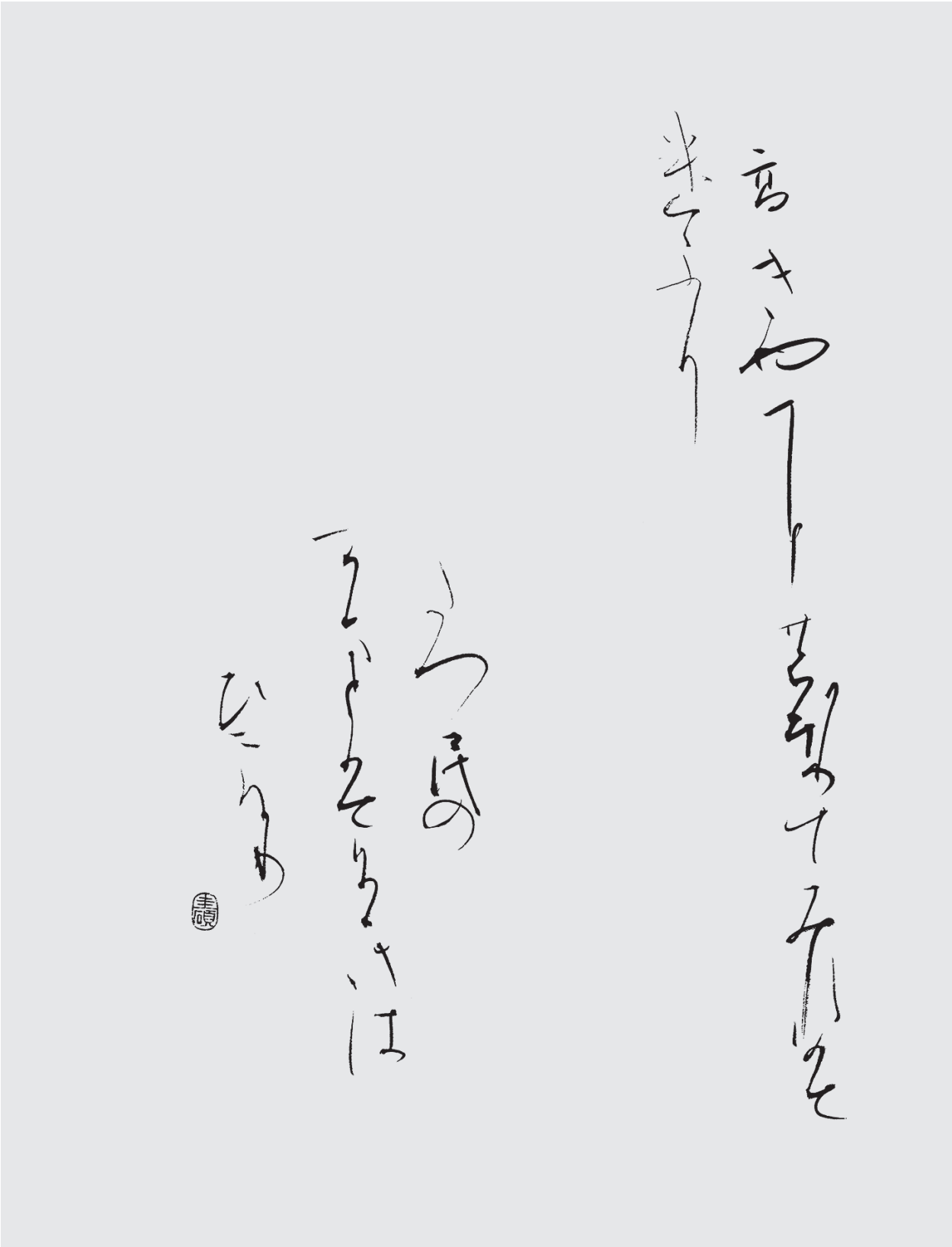
字形を縦長にとり、横画の筆圧の変化や縦画のシャープさを表現しよう。

吉田成美先生臨

半　紙　随　意　参　考　手　本　　―1月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

高き屋に　のぼりて見れは　煙たつ　民のかまとは　にきはひにけり



〈仮　名〉　高きや耳に　農本りてみれ盤は　遣ふり多つ　民の可万と盤は　尓きはひ二介り

舟　尾　圭　碩　先　生　書

半　紙　随　意　参　考　手　本　　―1月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります

〈実用書〉

立春　雨水
啓蟄　春分
清明　穀雨
立夏　小満
芒種　夏至
小暑　大暑

秋　永　春　霞　先　生　書

一般硬筆部参考手本＜A＞　―1月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目Ａ・Ｂのいずれか一点のみとする）

＜暮らしに役立つ書＞

書譜

東京オリンピック・パラリンピックまで、あと
半年となりました。先日、新国立競技場も
完成し、開幕に向けて秒読みですね。
ところで、陸上競技の観戦チケットの抽選
に、見事当選したとか。確率数パーセント
と聞き、私たちは初めから諦めていたのに、
まさに、強運の持ち主ですね。
都内はこれから益々五輪色に染まる
のでしょうね。楽しみに待ちましょう。

美穂子

罫のある便箋に書いてみよう。＜26cm×18cm＞　紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

兵　頭　白　慧　先　生　書

一般硬筆部参考手本＜B＞　―1月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目Ａ・Ｂのいずれか一点のみとする）

正月七日の朝に「七種」の若菜を粥に炊き込んで食べると、万病を払い、長生きするといわれる。また正月のご馳走を食べて疲れた胃を休め不足しがちな野菜の栄養を補う意味もある。

段　級

氏　名

吉　田　成　美　先　生　書

今月のかきかたドリル　（形や注意する点に気をつけてゆっくり書こう！）

中　学	小学６年	小学５年	小学４年	小学３年	小学２年	小学１年	ようねん
継	極	祖	始	道	楽	夕	も
継	極	祖	始	道	楽	夕	も
継	極	祖	始	道	楽	夕	も

一般の方も是非チャレンジしてください。

坂元紫香先生書

学生部条幅¼ 参考手本　—1月末日締切—

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）

ようねん・小学1年

小学2年

小学3年

小学4年

小学5年

小学6年

中学1年

中学2・3年

〈条幅¼＝四尺画仙紙半折¼…68cm×17・5cm〉

秋永春霞先生書

ようねん・小学一年

□「ね」は三画目の〝むすび〟は筆だけをまわさないように気をつけて書きましょう。

次号予告「お　に」

小学二年

□「か」は三画目の位置に気をつけましょう。腕全体で伸びやかに書きましょう。

次号予告「えんぴつ」

坂　元　紫　香　先　生　書

小学三年

□中心に気をつけながら、線の方向や強さ、〝はね〟・〝はらい〟に気をつけて書こう。

次号予告「友」

小学四年

□「出」は一画目を強く、「発」は筆順に気をつけ、左右の〝はらい〟を伸びやかに書こう。

次号予告「知　る」

吉　田　成　美　先　生　書

学生毛筆部規定参考手本　―1月末日締切―

小学五年

次号予告「近づく春」

□「希」は〝メ〟と〝布〟の大きさバランスに注意して、横画を伸びやかに書きましょう。

小学六年

次号予告「旅立ちの朝」

□漢字と平仮名の文字の大きさやバランスに気をつけ、〝はね・はらい〟をていねいに書こう。

秋永春霞先生書

中学一年

次号予告「大切な仲間」

□点画の連続や形の変化に注意し、筆脈を意識してリズムよく書こう。

中学二・三年

次号予告「新たな目標」（行書）

□筆脈の変化と点画の省略を意識しながら、流れのある作品に心がけよう。

吉田成美先生書

ようねん　（※ようねんの方は、小学一年の課題を書いてもよい。但、審査は従来通りです。）

はつもうでおみくじおとしだま

しもも　ったただ［⊙とめる］

段級

氏名

小学一年

けんじさんは、
ダがた、おねえさ
んと町へかい
ものにいきました。

ノクタ（ゆう）　一二三田町（まち）［⊙あいだをあける］［⊙はねる］

段級

氏名

坂元紫香先生書

学生硬筆部規定参考手本　—1月末日締切—

小学二年

おにごっこは、みんながたのしめるように、くふうされてきたのです。

段級

氏名

ナナ ◎とめる

百 百 百 百 百 ◎ななめにはらう

小学三年

ウイルソンは、はたらきありが、地面に何か道しるべになるものをつけておいたと考えました。

段級

氏名

一 二 ㇀ 百 百 面 面 ◎二本とも上下のよこかくにつける

丿 亻 亻 亻 何 何 ◎はねる

一 十 土 ㇀ 考 考 ◎右から左へはらう

坂元紫香先生書

小学四年

ウナギの研究で、たまごを
産む場所をさがす調査は、
より小さいウナギを追い
求めることから始まった。

段級

氏名

坂元紫香先生書

小学五年

漢詩は、中国の詩で、もともと
は漢字だけで書かれたもので
す。わたしたちの祖先は、古く
から中国と交流し、漢詩など
の文化にも親しんできました。

段級

氏名

小畠秋聲先生書

小学六年

最上級生になったという喜びと、なんにでもがんばろうという気持ちにあふれていた。だから、勉強も委員会の活動も、これまで以上に積極的に取り組んだ。

段級

氏名

⊙つき出ない　⊙うは一かくで書く　⊙一画で書く　⊙はねる

最 最 最